

「イクボス」で業績アップへ

大宮区で働き方改革講座

埼玉版ウーマノミクス
女性活躍推進

少子高齢化社会の中で求められる「女性活躍」をテーマにした働き方改革講座が7日、さいたま市大宮区で開かれた。県が推進する埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの一環で、3回続きの初回。K&Partners社長の川島高之氏が「イクボス」について講演した。

イクボスとは、部下の仕事と家庭の両立を応援しながら

組織の成果を出す経営者や管理職のこと。川島氏は「部下の私生活が充実すれば、視野が広まり発想力も増す。人としての魅力が高まれば仕事の能力も高まる」とワークライフバランスの効果を解説。「従来の働き方を大きく変える必要がある。残業は例外、休日出勤は異例といった意識を持つべき」と、部下の満足度や幸福度を上げることが業績アップになると語った。

また、イクボスになるための上司の心得について、川島氏は「部下との雑談を通じて、一対一の人間関係をつくってほしい」など、コミュニケーションのポイントを挙げた。

講座には約50人の企業関係者が参加。さいたま市の損保会社の女性主任(37)は「育児休暇などの制度利用は特別ではなく他の制度と同じように扱わないといけない。講座はぜひ上司にも参加してほしい」と話した。(高橋功)



職場の問題点の改善について、参加者の声を聞くK&Partnersの川島高之社長(右)7日、さいたま市大宮区